



石巻市【漁協支援】



今年の6月から着々と準備を進めていた宮城県漁協石巻地区支所の支援活動が本格的に始まりました。各浜では、震災前にはあった漁具倉庫が津波で流されてしまい、共同で使う道具や資材の置き場所がない状態が続いています。そこでとなりびとでは、石巻地区支所管内の各浜に合計10棟の共同利用倉庫の再建支援をす

る予定です。9月13日には、石巻地区支所管内の各浜の代表者が集まる運営委員会に出席し、今後の支援活動の内容に関する説明会を行いました。
沈下した漁港のかさ上げ工事など漁港全体の修繕工事が遅れている中での支援になりますが、できるだけ早く完成すればと願っています。(佐藤)



石巻市【仮設支援】



9月の仮設支援は、さまざまな団体・ボランティアの皆さんとの協働が多くなりました。9月5日は神戸女学院YMCAの女子大生の皆さんとのジョイントお茶っこサロンとなりました。「となりびと」に来ている関西からの男子三人組も、ぶつつけ本番で一緒に歌や踊りを披露しました。

9月25日は連携団体の一つ、山の音楽舎による「お茶っこ・うたっこ」。お月見セットの中でのお手玉や棒遊びに、皆さん子ども時代を懐かしく思い出されていたようです。夕方になると待ちに待った子どもたちもやってきました。続く26日は和太鼓公演。当日、仮設の集会所に到着すると手書きの「歓迎 和太鼓公演 仮設住宅一同」の張り紙があり、集会所には入りきれないほどの方が集まってくださいました。

また同じ26日、別の仮設では、札幌中央ルーテル教会の皆さんが用意してくださった手芸キットを用いての「手芸お茶会」を開催。巾着・エプロン・ミニバッグ・エコバックなど、仮設の皆さんは作ってみたいキットをそれぞれ選んで作業されました。翌日27日には、リフレクソロジーの腕を披露して下さいました。

石巻市【地域支援】



9月6日は、予定していたボランティア作業が前日に中止となったため、急ぎ石巻で畑作業の手伝いをする事になりました。1年以上の活動の中で出来たご縁を通じて、こうしてときおり被災地での暮らしを身近に感じる活動もさせていただいています。

気仙沼市【介護施設支援】



9月28日は、東京のたまっ子座と表現教育研究所の方が気仙沼市のリバーサイド春園で太鼓とわらべ歌のプログラムをしてくださいました。現在は仮設の施設で事業をしていますが、被災した建物は現在解体工事が進められ、今月初めにはようやく新しい施設の建設が始まりました。

東日本大震災ルーテル教会救援 2012年9月活動概要

- 活動地域 宮城県(気仙沼市、石巻市、東松島市、登米市) 福島県(南相馬市)
- ボランティア受け入れ 9月 8名(教会 8名/一般 0名)
- 物資支援の実績 9月 総数 0件
- 仮設支援の実績 お茶会 9月 9回開催(のべ 150名参加)
- 被災地関連商品の販売実績 9月 47,500円(教会バザー 1件/学校関係 1件)

